

# たちかわ市議会だより

平成20年(2008年)7月25日発行

編集・発行 © 立川市議会  
〒190-0022 立川市錦町3-2-26  
電話 (042) 523-2111(代表)  
創刊/昭和29年12月9日 発行随時/全世帯配布

◀立川市ホームページ▶http://www.city.tachikawa.tokyo.jp/

## 第2回 定例会

副議長に堀憲一議員が就任

H20年度  
補正予算などを可決



夏の暑さを  
吹き飛ばせ!

(諏訪の森保育園)

- 市長提出の18議案を可決・承認・同意
- 議員提出議案「立川市義務教育就学児医療費助成条例の一部を改正する条例」は賛成少数で否決
- 「『過去の国籍要件が理由で年金のない高齢者及び重度障害者に対する市による緊急救済措置として特別給付金の早期実施』を求める請願」及び陳情2件を採択、陳情1件を継続審査に
- 新しい委員会構成、組合議会議員決まる(下表参照)

### 主な内容

- 一般質問 ……2~6面
- 委員会の活動、議案賛否 ……7面
- 請願・陳情、意見書 ……8面

### 委員会等の新しい構成

常任委員会	総務	五十嵐 けん 須崎 八朗 米村 弘	高口 靖彦 田中 清勝	大石 ふみお 堀江 重宏
	厚生産業	早川 輝 清水 孝治 中島 光男	永元 須摩子 岩元 喜代子 太田 光久	木原 宏 矢島 重治
	環境建設	稲橋 ゆみ子 浅川 修一 牛嶋 剛	梅田 春生 矢口 昭康	伊藤 幸秀 佐藤 寿宏
	文教	福島 正美 中山 ひと美 堀 憲一	伊藤 大輔 大沢 豊 守重 夏樹	古屋 直彦 上條 彰一
新庁舎建設・現庁舎敷地活用特別委員会		◎中島 光男 伊藤 幸秀 太田 光久	○清水 孝治 大沢 豊 米村 弘	大石 ふみお 堀江 重宏
議会運営委員会		早川 輝 伊藤 大輔 岩元 喜代子	五十嵐 けん 木原 宏 守重 夏樹	高口 靖彦 清水 孝治
組合議会議員	東京たま広域資源循環組合	矢口 昭康		
	立川・昭島・国立聖苑組合	大石 ふみお	中島 光男	
東京都後期高齢者医療広域連合議会議員		牛嶋 剛		

◎委員長 ○副委員長(常任委員会及び議会運営委員会の委員長と副委員長は7月24日に開催される委員会により決定します。)

### 新副議長の就任について



6月19日の本会議において、守重議員の副議長職辞任に伴う選挙が行われ、新副議長に堀憲一議員が選任されました。

▶副議長 堀 憲一(公明党)  
平成6年初当選し、4期目。この間、文教委員会、厚生委員会、議会運営委員会、予算特別委員会、決算特別委員会の委員長を歴任。

### 人事紹介

6月19日の本会議で教育委員会委員及び公平委員会委員の選任について同意、人権擁護委員候補者の推薦について同意しました

- 立川市教育委員会委員 澤 利夫 氏
- 立川市公平委員会委員 黒瀬 直秀 氏
- 立川市柏町在住 人権擁護委員候補者 角谷 明人 氏
- 立川市柴崎町在住

### ◆会議の経過◆

～会期17日間～

6月12日	6月11日	6月10日	6月5日～9日	6月3日
環境建設委員会	厚生産業委員会	総務委員会	本会議	本会議
6月19日	6月18日	6月16日	6月13日	
議会運営委員会	議会運営委員会	新庁舎建設・現庁舎敷地活用特別委員会	文教委員会	



# 市政の内容を聞く 一般質問 (要旨)

- 1 大石 ふみお(市民フォーラム)
  - ①健康・予防対策について
  - ②安全で安心なまちづくり対策について
  - ③環境対策について
- 2 木原 宏(たちかわ自民党)
  - ①市立保育園の民営化について
  - ②自治会活動の活性化について
- 3 伊藤 大輔(市民フォーラム)
  - ①さらに充実した公園づくりについて
  - ②庁舎の業務時間拡張について
  - ③市立学校の支援体制について
- 4 中山 ひと美(たちかわ自民党)
  - ①JR立川駅周辺まちづくり
  - ②教育行政について
- 5 中島 光男(公明党)
  - ①子どもの放課後対策について
  - ②立川駅南口のまちづくりについて
  - ③スポーツ振興について
  - ④多摩川堤防の拡幅整備計画について
  - ⑤経営改革プランについて
- 6 梅田 春生(市民フォーラム)
  - ①市内公共施設における樹木の管理について
  - ②古屋 直彦(たちかわ自民党)
- 7 古屋 直彦(たちかわ自民党)
  - ①都市整備部の所管事項について
  - ②教育委員会の所管事項について
  - ③市民生活部の所管事項について
- 8 太田 光久(市民フォーラム)
  - ①後期高齢者医療制度について
  - ②行政のアウトソーシングについて
  - ③職員のメンタルヘルス対策について
- 9 堀江 重宏(日本共産党)
  - ①後期高齢者医療制度について
  - ②特別支援教育について
- 10 高口 靖彦(公明党)
  - ①環境について
  - ②行財政改革について
  - ③防災について
  - ④防犯について
- 11 福島 正美(公明党)
  - ①市民の自治会参加を促進する取り組みについて
  - ②南口の環境改善と放置自転車対策
  - ③消費者農園
- 12 永元 須摩子(日本共産党)
  - ①玉川上水駅前のトイレ設置について
  - ②妊産婦健診助成制度の拡充について
  - ③学校施設の改善について
- 13 田中 清勝(市民フォーラム)
  - ①電柱の地中化について
  - ②防災について
  - ③公会計について
- 14 新財務会計システムについて  
稲橋 ゆみ子(市民フォーラム)
  - ①通学路の安全対策について
- ②高齢者が地域で安心して住み続けられる施策について
- ③災害井戸の指定について
- 15 矢島 重治(社会民主党・みどり立川・市民の党)
  - ①立川駅北口西地区再開発事業に伴う自転車駐車場及び総合窓口センターについて
  - ②中心市街地活性化事業用地について
  - ③曙田学習等供用施設について
  - ④自転車の安全走行について
- 16 早川 輝(日本共産党)
  - ①保育について
  - ②砂川西部地域のまちづくりについて
  - ③少人数学級について
- 17 浅川 修一(日本共産党)
  - ①多重債務問題について
  - ②住民税について
  - ③立川駅北口西地区再開発について
  - ④立川市の地球温暖化防止対策について
  - ⑤経営改革プランについて
- 18 佐藤 寿宏(たちかわ自民党)
  - ①持続可能な行財政運営について
  - ②保育園の民営化について
  - ③図書館の指定管理者制度の導入について
- 19 堀 憲一(公明党)
  - ①安心・安全のまちづくりについて
  - ②教育現場の課題について
  - ③行財政改革について
- 20 上條 彰一(日本共産党)
  - ①市民の暮らしと営業を守る施策について
  - ②人間らしい雇用の実現のための施策について
  - ③競輪の「K・トリム」にかかわる問題について
- 21 岩元 喜代子(公明党)
  - ①生まれかわる立川」実現のための来年度予算編成について
  - ②地方自治の礎である、市政への市民参加推進のために
- 22 須崎 八朗(たちかわ自民党)
  - ①競輪事業について
- 23 清水 孝治(たちかわ自民党)
  - ①「ケヤキの根っこ」問題について
- 24 五十嵐 けん(社会民主党・みどり立川・市民の党)
  - ①「立川市の図書館」で「know」について
  - ②保育行政について
  - ③入札・契約制度の改革について
- 25 大沢 豊(社会民主党・みどり立川・市民の党)
  - ①福祉関連について
  - ②三多摩自治体環境度調査について
  - ③図書館の指定管理者への移行について
- 26 矢口 昭康(公明党)
  - ①行財政改革
  - ②健康増進について
  - ③まちづくりについて

### 窓口開庁時間の拡張、前向きに検討を

実施に向けて具体的に検討



伊藤 大輔(市民フォーラム)

**問** 職員の就業時間を早番と遅番に分けて開庁時間を拡張し、土曜開庁も行えば、より市民サービスの向上につながるものと考えます。また比較的余裕のある時間帯に業務作業を行うことにより残業時間の削減につながるのではないのでしょうか。仮に残業代が半減したと仮定した場合、一時間あたり7千510円、年間約6千500万円の経費節約になります。経費の削減努力は避けて通ることはできません。出勤時間のスライドによる開庁時間の拡張について見解を伺います。

**答** 窓口サービスの改善に關しては新庁舎のオープンを大きな契機ととらえ、施設の改善、新たなサービス展開、職員の意識改革の3点から検討を重ねています。平成18年9月に示した今後の窓口サービス展開の基本方針の中で、実施に向けて一定の方向性を打ち出しており、今後具体的な検討に入ります。出勤日や出勤退庁時間をずらし、業務時間の拡大に係る交代制勤務は、すでに窓口サービスセンターなどで実施しており、総人件費の節減の観点から必要な方策と考えています。

### 魅力ある自治会構築への取り組みを

地域をリードする人材の育成が重要



木原 宏(たちかわ自民党)

**問** 価値観や家族形態の多様化や、地域社会への関心の希薄さから自治会加入率は低下の一途をたっています。自治会活動は、災害時にその力が発揮されるなど様々なメリットがあります。加入率向上の課題となるのは、加入によるメリットの創設ではないか。市は地域リーダーとなる人材の育成や、自治連との連携で自治会や地域間、他団体とのコーディネートを行うなど、メリット創設に向けた取り組みを行うべきです。また、自治会の活性化を補助金の面でも検討すべきです。

**答** 自治会の問題は、社会的な変化が根本にあると考えています。このような中、防災や地域の安全など、地域の問題は地域でという認識が各地で生まれてきています。これからは、何かをしてもらうのではなく地域に何ができるかを考えることが必要であり、地域をリードしコーディネートする人材の育成が重要と認識しています。他団体や地域との連携活動も新しい自治会活動を広げる上では大きなポイントになると考えており、補助制度も現在展開しています。

### 睡眠時無呼吸症候群対策を

検査・検診の周知を工夫したい



大石ふみお(市民フォーラム)

**問** この病気は生命に関わる危険な病気として認知され始めています。しかし自分自身で症状を把握するのは難しく、治療を受けている人はわずかです。市ホームページに病気の症状や検査方法、検査機関を掲載し、さらには健康診査時にも、検査希望をとるなど、早期発見・早期治療の対策に取り組むべきです。

**答** 睡眠時無呼吸症候群は生活習慣病にもなりやすく、昼間の眠気から事故につながることもあります。市では健康相談等で情報提供を行っていますが、生活習慣病の予防対策の中で周知についても工夫をしていきたい。

また、昨年、厚生労働省の調査では、がん検診の質の管理が不十分との指摘がありました。本市としても検査内容の精度を重視した見直しを図るべきです。

がん検診は国の指針に基づいて実施していますが、引き続き検査機関等に依頼しながら精度管理のアップをしていく。また精密検査を受けていない方への勧奨を積極的に行い、がんの早期発見につなげていきたい。



### チャドクガ対策、市民に注意喚起を

広報等でPRをしていく

梅田 春生(市民フォーラム)

**問** 公園など市が管理する施設の樹木に発生する害虫チャドクガは、毒性が強く子どもたちにとって非常に危険です。他の自治体では広報やホームページで市民に注意を呼びかけているところもあり、特に鶴ヶ島市のホームページでは、生態や駆除方法、刺されたときの症状や対処方法、さらには医療機関の情報までが載せられています。一般家庭の庭にもチャドクガ発生危険があることから、本市でも広報等で市民に注意を呼びかけるべきと考えますが見解を伺います。

**答** 樹木の管理については、基本的には対象施設を所管している各部署が行っており、ほとんどが業務を委託しています。害虫発生時期には、職員や委託業者が定期的な巡回を行い、駆除しています。チャドクガは発生する樹木の種類が限られ、発生時期もほぼ限定されているので、各施設の管理者がこまめに見回するなど今後工夫をします。現在は、各施設で発生に応じて張り紙等により注意を呼びかけていますが、他市の例を参考に広報・ホームページでのPRをしていきたい。



毒針に注意!



### 堤防に歩道の設置を

引き続き国と調整を行う

中島 光男(公明党)

**問** 富士見町及び柴崎町に位置する多摩川堤防は、道幅が狭く車、自転車や歩行者との接触事故があり、危険な道路形態になっています。地域住民から歩道の設置の要望が何回も出されています。去年発生した台風9号の大雨により水位が著しく上昇したため、築堤により堤防の高さを解消する事業を実施することですが、事業の具体的な整備内容や歩道を改善した場合など、国と市の負担割合、工事着手から完成までのスケジュール等はどうか。

**答** 国は、多摩川水系河川整備計画に基づき、築堤及び高水護岸の整備を行うと聞いています。富士見町地区は延長700mで整備を行い、拡幅は現在の4mから8m程度に広がる予定です。柴崎町地区は延長320mで、既設堤防と一体的に河川側に堤防を整備します。整備スケジュールは本年10月から来年の3月までの予定と聞いています。事業費の負担については、護岸整備は国の負担であり、生活道路として歩道を設置した場合は市の負担になるものと考えています。



歩道の設置が望まれる(多摩川堤防)



### 「見えない暴力」緊急対策を—学校裏サイト—

対処方法を十分検討していきたい

中山 ひと美(たちかわ自民党)

**問** 児童・生徒のネットいじめが大きな社会問題となっており、現に市立中学校でも学校裏サイトが見つかることがあります。国が法で規制することですが、家庭や子ども自身、行政がやるべきことがそれぞれあると考えます。群馬県の中学校では、教員が教育委員会から貸与された携帯電話でネット上のパトロールを行うそうです。本市でもこうした対策を早く取るべきです。一刻も早く対処しなければどんな事件が起きるかわからない危険性があると考えますが見解を伺います。

**答** 児童生徒と保護者向けに、ネットいじめが人権を傷つけることや対処方法等を紹介したリーフレットを作成・配布したところです。また、学校裏サイトについても定期的に検索し、情報を学校に提供しています。今後も学校関係機関と連携し、いじめが人間として絶対に許されないという認識を徹底させる適切な指導を行ってまいります。裏サイトの対応については、ご提案の携帯電話の教員への貸与のほか、学校裏サイトの対策を行っている業者もあるので、検討していきたい。

### 用語解説 「学校裏サイト」とは

在校生や卒業生などが立ちあげている非公式の匿名掲示板で、携帯電話からしかアクセスできない。特定個人の中傷なども掲載され、いじめの温床にもなっている。



### 制度の廃止を国に求めよ—後期高齢者医療制度—

制度廃止を求める考えはない

堀江 重宏(日本共産党)

**問** 後期高齢者医療制度で導入された担当医や包括診療は患者にとって適切な医療が受けられなくなり、2年ごとに見直す保険料も後期高齢者数が増加すると高くなる仕組みになっているのではないのでしょうか。また従来窓口負担が1割であった夫婦のどちらかが本制度に切り離された場合、片方が3割負担になるという世帯がでてくると思います。これらの状況や制度に異議があるといった声などからも、市長は制度の廃止と、議論のやり直しを国に求めるべきです。

**答** 主治医制度並びに包括診療方式により、医療機関側から適切な医療がなくなるなどの指摘もありますが、厚生労働省はこれまでと変わらず必要な医療が受けられるとしています。高齢者の医療費は年々増加すると予想されており、保険料も確実に高くなると思います。窓口負担の割合はそれぞれの制度において判定するため、ご指摘のような結果も生じるとは思いますが、本制度は将来の制度の安定と持続を狙いに創設されているので、制度廃止を求める考えはありません。



### 高齢者が安心して暮らせる医療行政を

市長会を通じて意見を述べていく

太田 光久(市民フォーラム)

**問** 後期高齢者医療制度は、設計の根本において間違いがあります。国に対し、制度の廃止または凍結を求める考えはないか。また、市の独自施策として、保険料の納付が困難な場合は個別相談を行って市の責任で保険証を発行したり、被保護世帯より低い生活水準の世帯については保険料を免除するなど、高齢者が安心して医療を受けられるようにすべきです。さらに、制度導入により、国保料と比較して負担増となる市民に対して、助成金を支給する考えはないのでしょうか。

**答** 廃止や凍結を求める考えはありません。ただ、必要な見直しは行うべきと考え、市長会などを通じて国や広域連合等に意見を強く述べていきたいと思います。また、資格証明書の発行は一定の基準のもとで厳格かつ慎重な運用をしていきます。保険料は、生活困窮状態にある時は最大で基準生活費の100分の115未満までの所得割額の減免が可能です。負担増の方への市独自の助成金については、制度設計に係る見直しとなり、広域連合と連携して取り組むことが本来のあり方と考えます。



### 体育館のいす、計画的に修繕を

順次入れ替えるようにしたい

古屋 直彦(たちかわ自民党)

**問** 油の高騰や食料の高騰が現在話題になっていますが、学校給食の現場でも食材の高騰の実態はあります。また体育館にある折り畳みいすが老朽化しており、斜めに傾いていたり壊れているいすが多く見受けられます。市内で全国大会が行われるような種目もあり、使用する団体からは「何とかならないのか」といわれています。施設内の備品は一度に全て修繕するのは大変ですので、年次的に計画を立てていくべきではないでしょうか。

**答** 学校給食における食材は全般的に高騰傾向にあります。このような状況の中で質を落とさずに献立や食材の工夫等により、栄養バランスのとれた安全な給食の提供に努めています。体育館のいすなど、破損が少ないものは職員が手入れをして使用しています。パイプいすは全体の3割程度がこのままでは利用しにくい状況です。一度に替えるのは難しく、順次入れ替えるようにしたい。また玄関前にあるロビーのいすについても至急対応していきたい。